

第36回評議員会開催



3月21日(金)13時30分より第36回評議員会が全労済鳥取県本部 大会議室に於いて、評議員40名の内 39名(出席評議員29名書面表決10名)欠席 1名で開催しました。

議長団に森脇一也評議員、田中良憲評議員を選出し、中田理事長より中央・地方で連携したクレサラ改正に伴う運動・昨年10月に立上げた「ライフサポートセンターとつどり」又、新年度より鳥取県の委託事業として労働相談所「みなくる」を労福協が受託する予定であるなど今年度の活動での特徴的なとりくみが紹介されました。

直面する課題として、公益法人改正が一昨年の6月に成立し今年12月に施行となります。今後5年以内に行政の認定を受け、公益財団または一般財団となるか選択しなければなりません。

労福協活動は、皆さんの信頼と評価を得られるような運動に邁進し、その期待に応えなければなりません。これからもいつそうの知恵と力をさらには運動への情熱と愛情を頂きたいと挨拶がありました。

続いて来賓の鳥取県労働雇用課山本誠課長より、労福協活動の委託事業の工夫をしたりくみなど感謝がありました。同じく連合鳥取磯江智昭会長より、労働者福祉運動への労福協のとりくみへの感謝と激励がありました。

議事に入り第1号議案2007年度活動報告、第2号議案2007年度仮決算監査報告を行いました。

第3号議案2008年度の活動方針より第7号議案役員改選の審議を行いましたが、すべて承認されました。

今年より安田新理事長を中心とする体制になりますが、就任挨拶で労福協活動の更なる飛躍をめざす決意が表明されました。

新体制になりましたが、今回で退任されます中田博明前理事長・山中武将前専務理事・林哲二郎前理事は永く鳥取県労福協活動に尽力を頂きました。感謝を込め安田邦夫新理事長より功労表彰を行いました。

2008年度 活動の基調

- ① 勤労者の暮らしに関する社会運動や政策要求の実現をめざします。
- ② 自主福祉活動としての暮らしのサポート事業(ライフサポートとっとり)の基盤強化を行います。
- ③ 事業団体などの事業や活動が発展し、社会的な役割を果たしていく基盤づくりを構築します

財団法人 鳥取県労働者福祉協議会 役員一覧表

理 事 長	安田 邦夫	連合鳥取（情報労連）	理 事	坂口 俊広	高教組
副理事長	前田 厚彦	連合鳥取（日教組）	〃	浜江 隆二	鳥取県生協
副理事長	安長 章	中国労働金庫	〃	米田 成利	鳥取医療生協
専務理事	小泉 俊一	鳥取県労福協	〃	河村 正之	労福協東部支部
常務理事	小高 郷近	全労済	〃	中林 純也	労福協中部支部
理 事	澤田 陽子	連合鳥取（自治労）	〃	角 敏男	労福協西部支部
〃	土岡 勉	連合鳥取（JR連合）	監 事	山口 真澄	連合鳥取（JAM）
〃	吉田 孝博	連合鳥取（全国一般）	〃	中居 和美	中国労働金庫

（2008年3月21日現在）